

K
S
K
P



(平成10年1月)

No. 27

編集人

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

西浦三郎

〒650 神戸市中央区橘通4丁目1-28

辻ビル2F

T E L 078-360-2618

F A X 078-360-2615

新しい精神保健福祉の 時代への期待



兵家連会長 西浦三郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。阪神・淡路大震災から丸三年が経過し、被災地にはまだ仮設住宅も残る中で、景気の先行きにも不透明さが増すなど、ひとしお厳しさが感じられる新しい年を迎えるました。

昨年末の国会では、精神保健福祉士法、言語聴覚士法、そして介護保険法などが成立いたしました。つづいて今年も精神保健福祉法、障害者基本法、年金法などの改正が検討されます。とくに精神保健福祉法の見直しを翌年に控えた今年は、極めて重要な年になります。

障害者プランが打ち出されて丸二年。精神障害者の福祉を21世紀に向けてどう発展・定着させるか、法の改正とあわせ、家族会としても大いに努力すべき時期に来ているのもと信じます。今年は、地域の人々や関係者の方々と力を合わせて、障害者の福祉が地域に根づく社会づくりへの新たな時代の幕開けの年にいたしましょう。

<賛助会員募集>

あなたのご支援で、兵家連は運営されています!!

年会費 団体の場合 1口 (10,000円) 以上

個人の場合 1口 (3,000円) 以上

振込先 郵便振替 01110-4-83568

(赤枠用紙) 兵家連

新年のあいさつ



架けよう心の吊り橋

兵庫県知事

貝原俊氏

人ゆきかい 肩抱きあい

物わかちあう 交流の道

それぞれの 心に架ける吊り橋に
点す ふれあいの灯火あたたかく
共に生きる 県民の行く手を照らす

「こころ豊かな兵庫」めざして

希望という名の 橋を渡り

人と自然 人と人 人と社会の
調和のとれた ふるさとへの道を
切り拓いていこう 力ひとつに

真珠の王冠のように 雅びやか
羽ばたくカモメのように 精麗
いま 明石海峡大橋
新しい世紀への 夢を架けて
燐然と 兵庫の春の幕あけを飾る

平成拾年 元旦

精神保健福祉手帳の 更新手続きについて…

精神障害者保健福祉手帳は、2年ごとの更新が必要で、なお更新手続きは、現在お手持ちの有効期限満了の3ヶ月前から行うことができます。

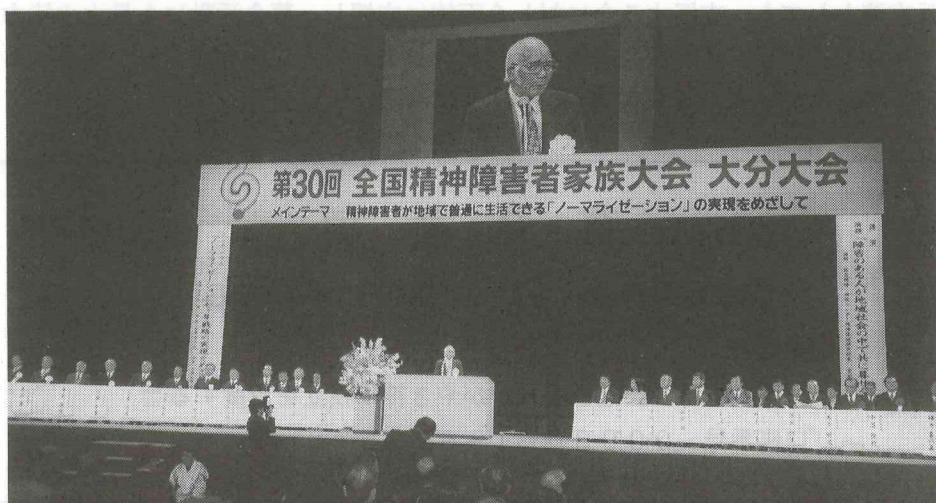
① 申請者について	手帳は、精神障害を持つご本人からの申請です。ただし、申請書の提出や手帳を受け取る場合の手続きは、家族や医療機関の職員が代行することができます。
② 申請に必要な書類	<ol style="list-style-type: none"> 精神障害者保健福祉手帳申請書（通院医療公費負担と共に申請書） 初診日から6か月以上を経過した時点の医師の診断書または、障害年金を受給している方は、障害年金証書の写しと直近の年金払込通知書の写しでも申請ができます。 <p>申請書、診断書については保健所にあります。</p>
③ 申請の窓口	お住まいの地域にある保健所に申請してください。

第30回全国精神障害者家族大会報告

第30回の大きな節目となる全国大会が、97年11月19日～20日の2日間、大分県別府市の会場ビーコンプラザにおいて、全国から約5千人の参加者を集め、盛大に開催されました。

受賞 おめでとうございます。

本大会で木の根会家族会の石川洋子さんが全家連理事長表彰を受けられました。



平成9年度兵庫県障害者福祉大会報告

県下の障害者、福祉関係者及び一般県民が一堂に会し、障害者福祉の向上を図る目的で、去る10月24日、高砂市文化会館で約千名の参加者を集めて開催されました。

主催団体は、兵庫県、高砂市、(財) 兵庫県身体障害者福祉協会、(財) 兵庫県手をつなぐ育成会、(社) 兵庫県精神障害者家族会連合会の5団体で、講演、障害者の朗読劇、表彰式などがあり、当連合会関係では、京口作業所、揖龍家族会、すぎな作業所の8名の方が受彰されました。

今年の第3回福祉大会は、明石海峡大橋の開通を記念して、淡路島の津名町しづかホールで、10月1日（木）に開催されます。障害の種別を超えた福祉大会ですので、是非多くの方々のご参加をお待ちしております。

社会福祉法人かがやき神戸の精神障害者授産施設

（生活支援センター併設）の設立構想発表

兵庫県における2番目の精神障害者授産施設を神戸市の西区に設立しようと、『社会福祉法人かがやき神戸設立を支援する会』（代表：沢村誠司・兵庫県総合リハビリテーションセンター所長）では、地元神戸市、各種団体・関係者の支援を得て1月11日、施設の設立構想発表ならびにシンポジウムを神戸で開催しました。

当日発表された設立構想によれば、目下買収交渉中の神戸市西区にある土地に2階建ての建物を建設し、1階は授産施設、2階を生活支援センターとして利用する計画で、建設所用資金総額は約2億円で、そのうち3千万円は募金で賄うことになります。

兵家連としても、支援する会に対し全面的に応援し、募金活動にも最大の協力をする所存ですので、各家族会の皆さんに於かれましてもご理解のうえ、是非ともご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

募 金 要 項

施設建設募金 一口 2,000円 何口でも可

郵便振替

口座名称 社会福祉法人かがやき神戸設立を支援する会

口座番号 00930-1-67354

平成9年度但馬・丹波地区 家族会指導者研修会報告

公立豊岡病院家族会めばえの会々長 北村重夫

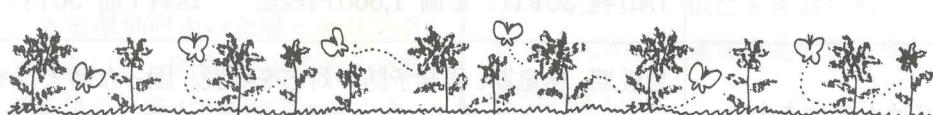
昨年の10月27日、豊岡市立福祉センターに於いて、午後1時から標記の研修会を実施いたしました。

今回は、従来と違って午後からの開会ということで、時間的な制約がありました。が、先般の兵家連の総会でお聞きした全家連相談援助部の池末美穂子先生の講演が大変感銘深かったことから、実行委員会では是非もう一度聞きたいという要望が強く、再度池末美穂子先生にご無理を申し上げて、『共に生活を取り戻すために』という演題で、講演して頂くことになりました。

来賓のあいさつも相当割愛させて頂いた強行スケジュールでしたが、講演が終わると待ち構えていた会員は、この時とばかりに質問の矢を放ち、余りの会員の熱意に講師の池末先生も、帰京のため乗る列車を遅らせ、東京帰着は新幹線最終列車という有様でした。

さて、何時の場合もそうですが、質疑の中味は自分自身にまつわる身の上相談が多く、講演会のように多数の人々を一堂に集めた会場では、個々の家族の方々の質問に応えるには、無理なように感じられました。

従って、今後の研修会の在り方として、家族会員個々に満足感を与えるには、どのような工夫をすれば良いのか、時間的制約に苦労した実行委員会の一人として、大いに考えさせられる一日でした。



西播地区家族会指導者研修会 開催のお知らせ

日時：平成10年2月28日（土）

14:00～16:00

場所：姫路市民会館3階 第2会議室

シンポジウム：

<精神障害者の地域支援とネットワークづくり>

阪神地区家族会指導者研修会 開催のお知らせ

日時：平成10年3月7日（土）

13:00～16:00

場所：宝塚総合福祉センター

講演：地域生活支援活動の現状と課題

<どうしたらいいのか家族会>

図書の新春プレゼント

兵家連が手持ちの全家連発行月刊誌“ぜんかれん誌”(バックナンバー)を無料で差し上げます。家族教室でのテキスト用とか個人の知識向上資料としてお役立てください。参考例の他にも未だありますので、『兵家連“ぜんかれん誌”在庫目録』をご請求ください。家族会経由でお申込み下さい。

(参考例)

<送料は各自でご負担下さい>

[発刊年月]

[特集記事]

[手持ち在庫数]

330号 (1994年7月号)	入院と家族	22冊
339号 (1995年4月号)	薬とのつきあい方	14 "
358号 (1996年11月号)	境界例とはどのような病気か	20 "
366号 (1997年7月号)	家族が知っておきたいこと	15 "

全家連発刊図書の紹介

ご希望の方は、兵家連宛申込み下さい。

「新版・精神障害者が使える福祉制度のてびき」	障害年金が利用できるすべての制度を解説しています。障害年金や生活保護の実際を解説。障害手帳や医療保険制度改定の情報等も網羅しています。 (A5判 194頁 定価 1,500円税込 送料1冊 50円)
ハイ！相談室です。こころの病のQ & A	全家連の相談室で取り扱った過去10年間分の事例をもとにさまざまな疑問を解決するヒントが記載されています。 (A5判 251頁。定価 1,600円税込 送料1冊 50円)
こうしてつきあう分裂病	急性期、休憩期、再発予防の対応を解説。困った時どうするかが分かり自信を持って病気に対応できるようになる。 (A5判 80頁。 定価 850円税込 送料1冊 50円)
みんなで歩けば道になる 全家連30年のあゆみ	単なる全家連の歴史ではなく、家族会の足跡がすべてわかる。家族会にたずさわる全ての人に読んでほしい1冊。 (B5判 278頁。定価 3,500円税込 送料1冊 50円)

兵家連が阪神大震災関連で

発刊しました書籍購買のお礼について

『阪神大震災に遭遇した兵庫県の精神障害者小規模作業所の今』ほとんどが完売できました。カンパも多く頂き深謝します。

社会の動き

■厚生省の障害者関係合同検討会中間報告

厚生省の障害者関係の3審議会合同検討会は、平成9年12月9日、障害者に対する福祉サービスの決定権限を都道府県から身近な市町村に一元化することなどを柱とする「今後の障害者保健福祉施策の在り方について」と題した中間報告書をまとめた。

■知的障害者の財産保護で報告書

痴ほう症や知的障害で判断能力が不十分な成年を保護するための制度を検討していた法務省の成年後見問題研究会は、痴ほう、知的障害の程度で禁治産と準禁治産に分けて現行制度を「後見」「補佐」「補助」の3つに区分し直すことなどを盛り込んだ報告書をまとめた。

これを受け同省は、法制審議会に小委員会を設置、98年春に試案をまとめ、99年の通常国会に民法改正法案を提出したい考え。

■知的障害者の財産管理に支援者制度

厚生省の「精神薄弱者等の財産管理に関する検討会」は、本人に代わって財産を管理する「財産管理支援者」の登録・紹介システムの構築を求める中間報告書をまとめた。

近年、障害者らの財産を狙った事件が多発しているため、検討会はこうしたシステムを全国的に広げる必要性を訴えている。

■難病治療費、一部患者負担に

現在、全額を公費で負担している医療費について、公衆衛生審議会の難病対策専門委員会は患者負担を導入とした報告書をまとめた。

重症状度に応じて、最高で自己負担分の3分の1を患者負担とするもので、厚

生省は具体策を年内にまとめ98年度から導入する方針。

■精神保健福祉士(PSW)法案成立

精神障害者の保健および福祉に関する専門的知識や技術を持って、精神障害者の社会復帰に関する相談、助言、指導に携わる精神保健ソーシャルワーカー(PSW)に国家資格を与える精神保健福祉士法案が97年12月2日衆議院を通過し成立した。

■省庁再編、法案づくり本格化へ

政府は、新年早々に行政改革会議の最終報告に盛り込まれた1府12省庁への省庁再編や内閣機能強化の実現に向けた省庁再編基本法案の策定と、98年1月の通常国会への提出のための作業を始める。

■98年度予算政府案決定

政府は、97年12月25日、総額77兆6691億円の1998年度一般会計予算と財政投融資計画の政府案を決定。

社会保障費などの圧縮で一般歳出の伸び率は11年ぶりにマイナスとなった。

社会保障関係費は7500億円以上の自然増加が見込まれていたが、97年度比2%増に止めた。

中でも医療は、薬価基準の9.7%引き下げ、健康保健組合などへの負担転嫁などで3210億円減らす一方、診療報酬は1.5%、1000億円引上げ、差し引き2200億円削減。

■再び持越しの公的支援論議

参院の災害対策特別委員会は、97年12月12日、前国会で付託された「災害被災者等支援法案」(市民立法)を、野党三党が提出した「被災者支援法案」とともに継続審議とすることを決めた。

兵 家 連 活 動 日 誌

役員の動き

- | | | | |
|-----------|--|-----------|---------------------------------|
| 9. 10. 17 | 尼崎西保健所家族教室へ
(西浦会長) | 11. 14 | 兵庫県精神保健職親会研修会
(西浦、東口、大槻) |
| 10. 18 | 作業所指導員会との会合
(西浦、東口) | 11. 19~20 | 第30回全国家族大会<別府>
(西浦ほか約2名) |
| 10. 22 | 広報紙部会編集会議
(西浦、大槻、平野、上垣) | 11. 26 | 兵家連理事会 |
| 10. 24 | 兵庫県障害者福祉大会
<高砂文化会館>
(西浦、東口ほか) | 12. 1~2 | 全国リハビリ会議<東京>
(西浦会長) |
| 10. 27 | 但馬・丹波地区家族研修会
<豊岡福祉会館>
(西浦、岡野、東口ほか) | 12. 11 | 兵家連家族会々長会議 |
| 10. 29 | 兵家連事務局会議
(西浦、岡野、多田、東口、西谷) | 12. 12 | 作業所指導員会との会合
(西浦、岡野、東口) |
| 11. 4 | 障害者の就労に関する国際セミナー
<京都> (西浦) | 12. 15 | 全家連理事会<東京>
(西浦会長) |
| 11. 5 | 兵庫県による法人業務監査 | 12. 20 | 関西青少年サナトリウム
家族教室へ
(岡野副会長) |
| 11. 7 | 篠山保健所精神保健福祉連絡会
(西浦会長) | | |



あとがき

広報部委員の方々が、そうそうたるメンバーで、部会長とは名ばかりで、恐縮しています。各地区持ち回りで編集を受け持つことになり、25・26号は他地区の委員の方が、すばらしい原稿をお集め戴き、以前とは趣の異なった機関紙になっているように思います。

今回は新年号ということで知事様の、輝かしい兵庫県の未来を象徴するような、希望に満ちた明石海峡大橋に因んだおうたを頂戴しました。どうも有り難うございました。(大槻)

精神保健福祉講座 No.21

こちら精神保健福祉相談室

文責：兵家連相談室 青木 聖久

『平成10年』新しい年の始まりです。

私のように昔ながらの日本人というのは、年頭にはきまって「今年の抱負」なるものを掲げて、そしてまた年末にはこれまたきまって「今年の10大ニュース」なるものを振り返ります。ただ人間というのは不思議なもので、10大ニュースのように“事実”を振り返ることはあっても、あまり抱負に対する達成度“成果”を振り返ることって案外少ないように思います…私だけでしょうか？

さて本年、兵庫県内の精神障害者を巡る状況はどのようになっていくでしょうか。少しずつでも前進していくことを期待したいと思います。

☆相談開設日：月～金の午前10時より午後3時

電話番号：078（360）3610

【秘密は厳守します】

[通院患者リハビリテーション事業（通称 職親制度）について]

相談者（37歳男性）：高校卒業してから5年くらいは印刷工場で働いていましたが、病気になってからは仕事も辞め、気力が出なくて家にしばらくいました。でも、父親が定年退職して両親とも1日中家にいるから、何も言われないけどずっと家の中にいるのがつらくて…。就職情報誌で仕事を見つけて、アルバイトを何回か行きましたが、中々長続きしません。病気のことがばれたら首になると思うと薬も飲めなくなるし、寝ることも出来ないようになって、やっと寝れたと思ったら夜明け前で、結局朝起きれなくなります。家にずっといると落ち込んでくるし…。この前友達と話をしていたら、病気をわかった上で雇ってくれる職場があると聞いたんですけど？自信もつけたいし、どこか知っていたら紹介してもらえないでしょうか。

回答：あなたがこれまでがんばってきた様子、これからもがんばっていきたいと思っている様子が非常によく伝わってきます。確かに、一日中家の中にずっといて、御両親と顔を見合わせていると、お互いに必要以上に気を使いあって

結果として疲れるかもしれませんね。

さて、ご質問の件ですが、あなたがお友達から聞いたのはおそらく『通院患者リハビリテーション事業、通称：職親制度』のことだと思います。まずこの制度は中身について説明致します。この制度は実施主体が県（神戸市は市）、具体的な窓口としては、住所地を管轄する保健所ですので、精神保健福祉担当の職員さんが訪ねるのが一番の早道だと思います。神戸市、尼崎市、姫路市の保健所では精神保健福祉相談員さん、その他県が設置している保健所では保健婦さんが担当しているところが多いようです。制度運用としては、精神障害者の方に理解のある協力事業所に一定期間（基本的には6ヵ月で最高3年）就労をし、「自立」「社会参加」を目指します。尚、事業所には訓練委託費として本人が出勤した日数×2,000円が支給されます。したがって制度の利用いかんでは、事業所にとっても随分メリットのある制度だと思います。

ここまでが、制度の大まかな説明ですが、実際協力事業所数がそんなに多くないことと、もし身近に存在していたとしても、今この制度を使うことがあなたにとって長い目で見た場合、いいかどうかゆっくり考えてみてから動いてもいいのではないかでしょうか。まずは、あなたのことをよく知っている主治医の先生、ソーシャルワーカーさん、保健婦さん等に一度相談してみてはいかがでしょうか？



平成9年12月1日現在、兵庫県全体で「協力事業所」登録数は、153カ所ですが、全ての事業所に精神障害者の方が通っているわけではありません。もし、協力事業所になってくれそうな事業所に心当たりのある方は、兵家連相談室まで是非お知らせください。